

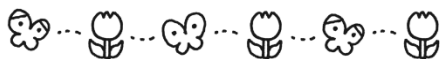
2025年度

きたおおじ保育園

園だより 3月

たくさん言葉が出始めた1歳児さん。ある日、公園で突然「オカマの！」と元気な声。思わず驚く先生。「え？オカマ??」首をかしげながら何度聞き返しても返ってくる言葉は「オカマの～！」。一体何なんだろうと考え続けていると、その子が玩具のバケツを腕に下げて嬉しそうに歩いてきました。その姿を見て先生はハッとします。「もしかして…お買い物？」と尋ねると、その子は満面の笑みで大きく頷き、もう一度「オカマの～！」と言いながら走り去っていきました。言葉が少しずつ形になっていく1歳児さんならではの、ほほえましい一コマでした。それでは、いよいよ今年度も最後の園だよりです。

<1年の成長>



この一年、子どもたちはそれぞれのペースで大きく成長しました。初めての園生活に涙していた仲間たちが、安心できる場所を見つけて笑顔がたくさん見せてくれるようになり、成長と共に「じぶんで！」の気持ちをたくさん発揮はじめましたね。そして、仲間の存在に気付き、小さな体でお友だちと関わりながら、心も言葉もぐんと広がりました。毎日の「ムギユムギユ」と、あふれる「だいすき」の中で育った一年でした。

<そのまんまでステキだよ>

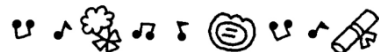


当園の理念は「そのまんまでステキだよ。ムギユムギユいっぱいくっついて、大好きがあふれる保育園」です。私たちは、3歳までに本当に大切なのは、上手にできることや早く覚えることよりも、「自分は大切にされている」と感じられる経験だと考えています。うまくいかない日も、泣いてしまう日も、抱きしめてくれる大人がそばにいること。その積み重ねこそが、子どもたちの心の土台になると信じています。

<いよいよ卒園間近です>



3月で卒園する2歳児さん。春からはそれぞれ新しい園へと歩み出します。環境が変わり、戸惑うことや壁にぶつかることもあるでしょう。それでも、きたおおじ保育園でたくさん「だいすき！」と言われ、何度もぎゅ！っと抱きしめられた経験は、きっと心の奥であたたかく光り続けます。「ぼくは、わたしは、このままで大丈夫」。そう思える力が、これからの挑戦をしっかりと支えてくれるはずです。



そして3月も、次の保育園や幼稚園に行くための「準備期間」としてではなく、今この瞬間を大切に過ごしていきたいと思えます。新しい環境へ向かう為に何かを詰め込むのではなく、今しか蓄えることのできない、心の奥に溜まっていく温かなパワーを、ゆっくりと満たしていくひとときにしたいのです。

抱きしめられること、笑い合うこと、「だいすき！」と伝え合うこと。その一つひとつが、子どもたちの未来を支える大きな力になります。春へと歩み出すその日まで、変わらずムギユムギユいっぱい、愛情いっぱいの毎日を重ねながら、子どもたちの心にたくさんの“安心”と“自信”蓄えていきたいと思えます。

2025年度も、本当にありがとうございました。



主任保育士 糸井恵太

